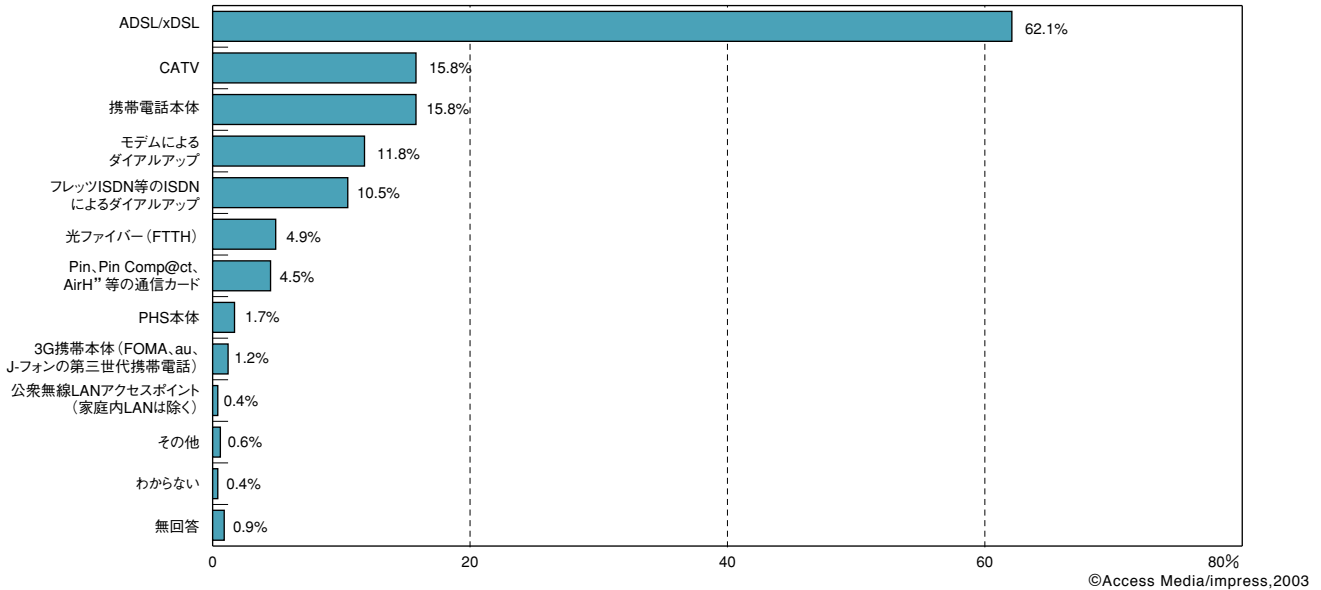


通信回線全体動向

6割がADSL、光ファイバーは4.9%にとどまる

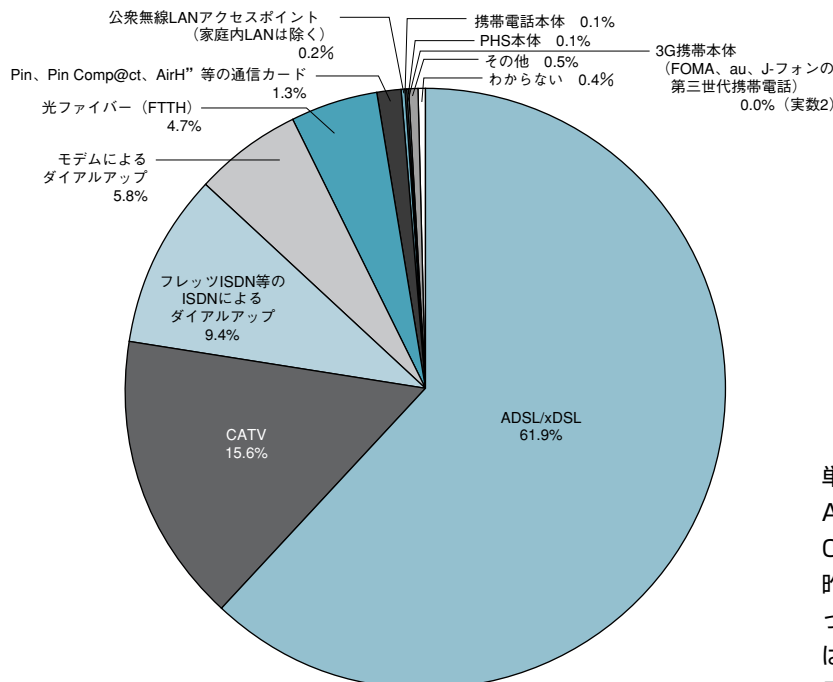
資料2-1-1 インターネット接続方法 N=5,547



複数回答で聞いたインターネット接続回線はADSL/xDSLが62.1%で圧倒的に多い。次いで多いCATVと携帯電話がそれぞれ15.8%。かつての主流だったダイヤルアップ接続はモデムとISDNを合わせても20%強。光は4.9%にとどまった。

主な接続回線もADSL/xDSLが61.9%と急伸

資料2-1-2 主なインターネット接続方法 N=5,547



単数回答で聞いた主な接続回線でもADSL/xDSLが61.9%でトップ。CATVは15.6%。ADSL/xDSLは一昨年の調査で0.8%、昨年は20.1%だっただけに急伸びが目立つ。CATVは一昨年が8.0%、昨年は10.1%で利用者数を堅調に増やしている。

日本の普及状況

個人の利用実態

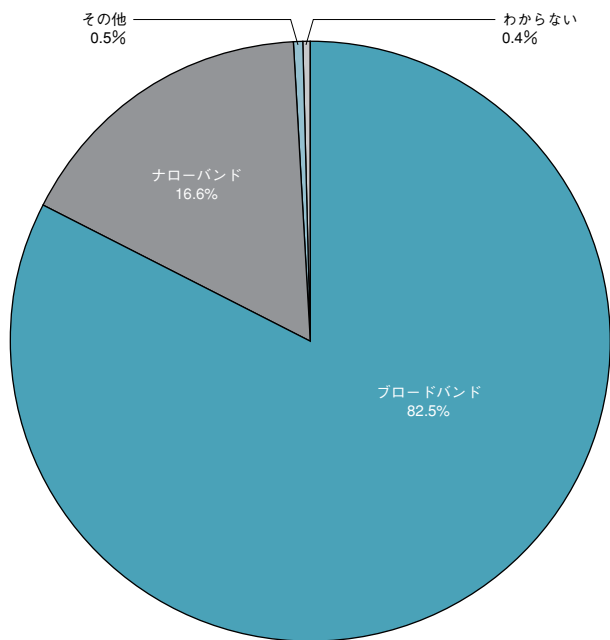
企業の利用実態

海外の普及状況

通信回線全体動向

回答者の8割以上がブロードバンド環境

資料2-1-3 主な接続方法に見るブロードバンド・ナローバンド構成比 N=5,547

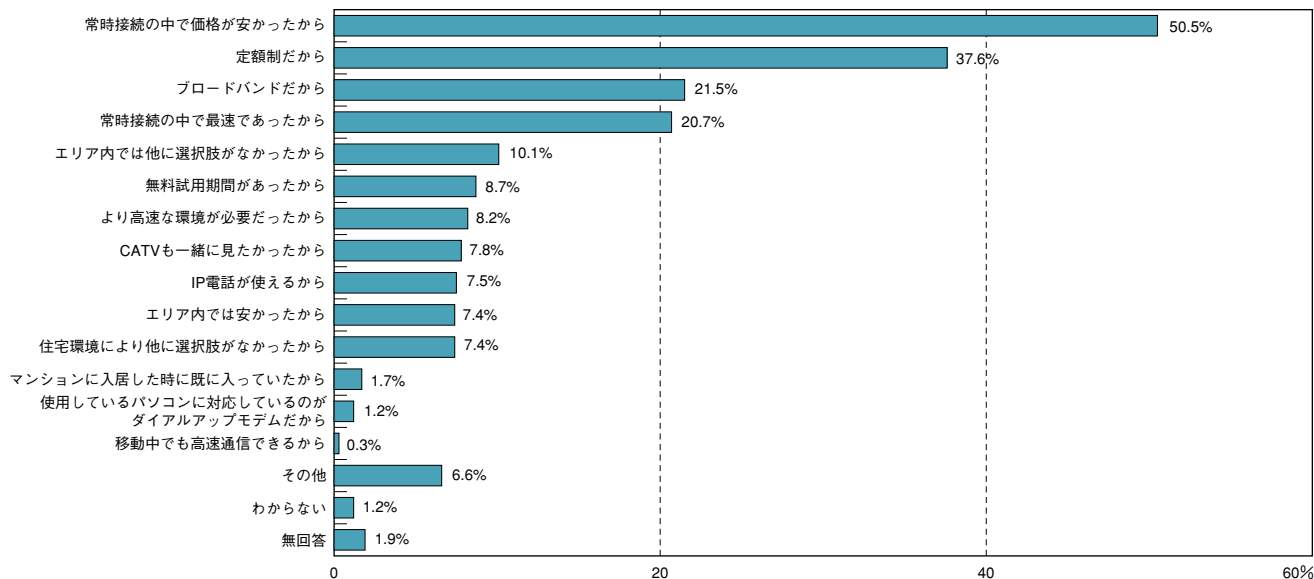


©Access Media/impress,2003

この調査は、ウェブ上でのアンケート結果に基づいているため、実情よりも高い数値が出ている可能性がある。たとえば電話による普及率調査（第1部に掲載）では、インターネット利用世帯に占めるブロードバンド環境は約4割である。

「常時接続ができて安いこと」が回線選びの第一条件

資料2-1-4 主な接続方法の選択理由 N=5,547



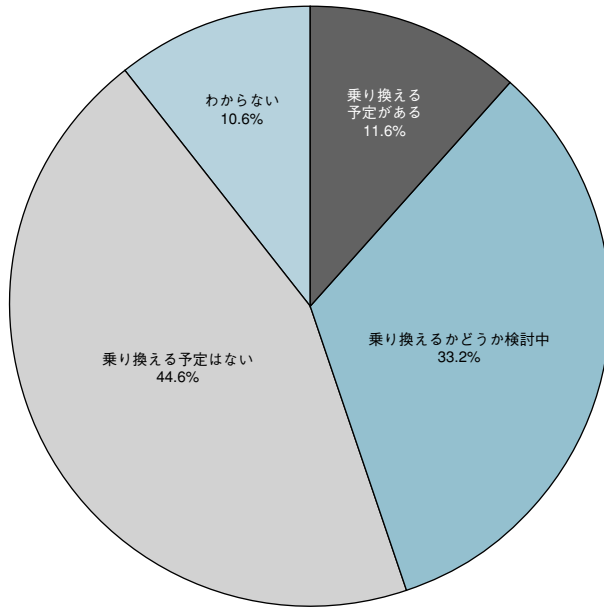
©Access Media/impress,2003

利用している接続方法を選んだ理由として多かったのは「常時接続の中で安かったから」と「定額制だから」。常時接続ができる環境をまず前提とし、その中で価格が安い接続方法を選ぶ人が多い。「常時接続の中で最速だから」は20.7%にとどまった。

通信回線全体動向

接続回線は「乗り換える予定はない」が44.6%

資料2-1-5 接続方法の乗り換え意向 N=5,547

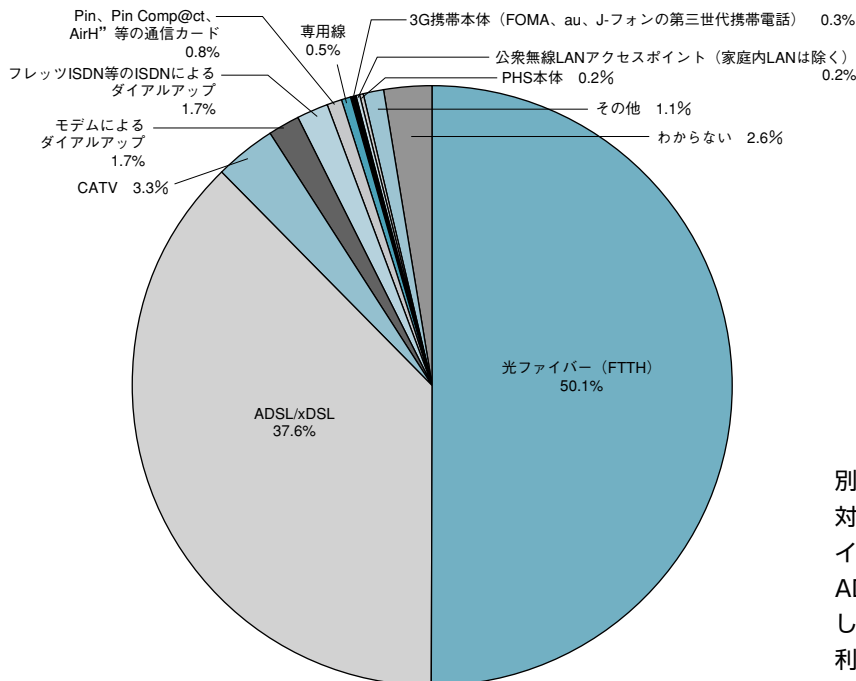


©Access Media/impress,2003

現在使用しているインターネット接続方法から別の方法に「乗り換える予定はない」は4割強。「乗り換える予定がある」の11.6%を大きく上回った。基本的に今の接続環境に満足している人は多いが、3人に1人は「乗り換えるかどうかを検討中」だ。

次に乗り換えたい接続回線は「光ファイバー」

資料2-1-6 今後1年以内に乗り換え予定の接続方法 N=643



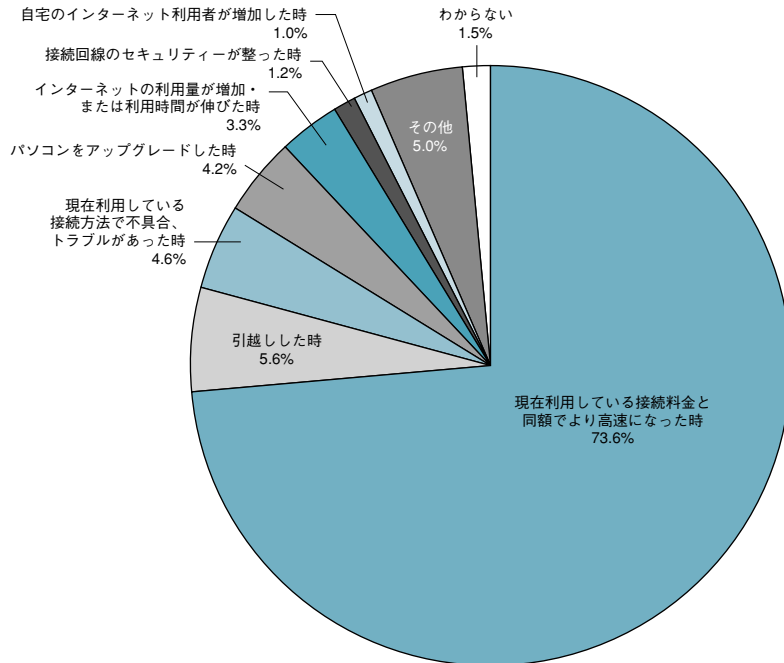
©Access Media/impress,2003

別の回線に乗り換える予定がある人を対象に調査した結果、約半数が光ファイバー環境を望んでいる。なお、ADSL/xDSL環境への切り替えを検討している人の中には、すでにADSLを利用して、別の業者に切り替える予定の人も含まれている。

通信回線全体動向

「同額で速くなるなら乗り換える」は73.6%

資料2-1-7 乗り換え検討者が今後乗り換える場合の主な理由 N=1,842

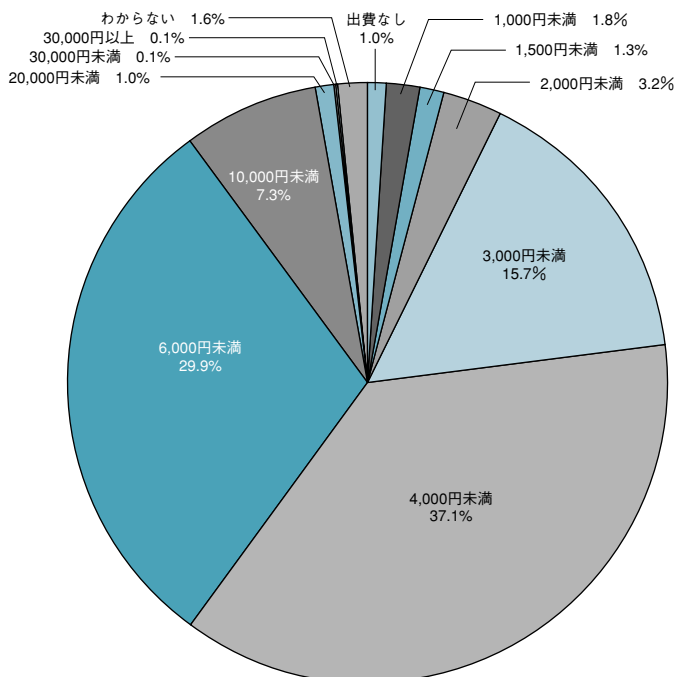


©Access Media/impress,2003

乗り換えを検討している人の約4分の3は、「現在利用している接続料金と同額でより高速になった時」に切り替えると回答。通信速度とコストに対するユーザーの要求は厳しいだけに、業者間の競争は今後も激化が予想される。

3,000～6,000円が平均的な月額料金

資料2-1-8 1か月のインターネット利用料金 N=5,547



©Access Media/impress,2003

毎月の接続料金でいちばん多いのは3,000～4,000円の価格帯。ADSL環境やCATV環境のベーシック料金に合致する。4,000～6,000円も29.9%なので、3人中2人は3,000～6,000円の範囲にある。3,000円未満の人も2割強いるほか、1万円を超える人も1.2%。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp